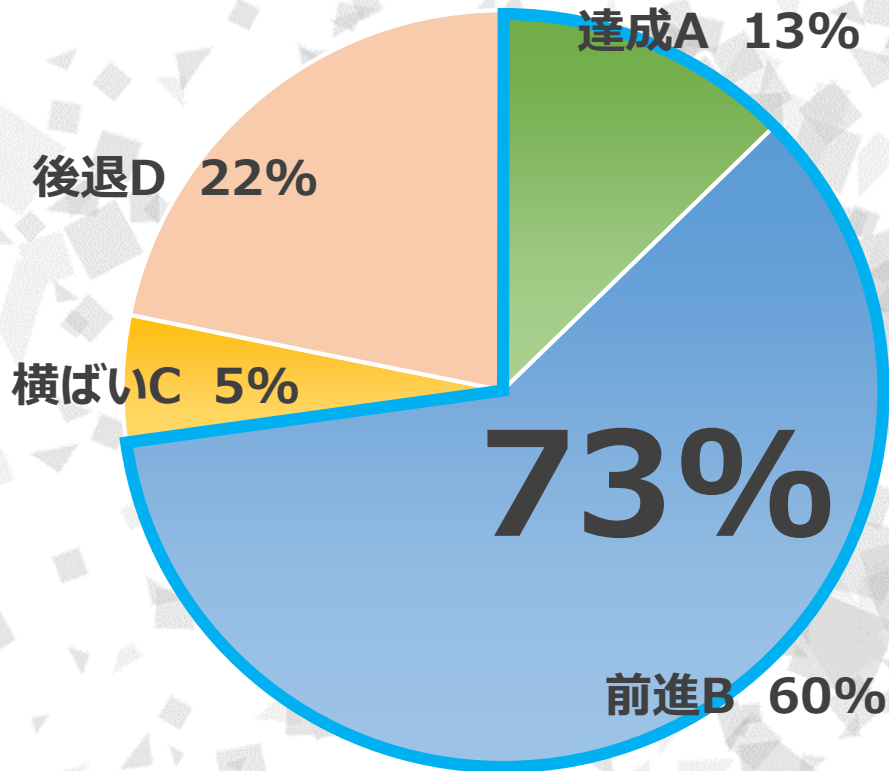


「新・群馬県総合計画」2年目（2022年度）の評価検証結果

2022年度（KPI実績）



総括

進捗状況は、概ね良好

有識者意見も踏まえ、引き続き、目標達成に向けさらなる取組を進めていく。後退したKPIについては、要因分析を行った上で、その解決に向けた取組を進めていく。

- 59のKPIのうち、実績値が判明した**55のKPIについて評価検証**を実施
- KPI全体の進捗状況は、「**達成A**」+「**前進B**」の割合が**73%**
- 一方、「**横ばいC**」+「**後退D**」の割合は**27%**
- 「**後退D**」となった12のKPIには、新型コロナの影響を強く受けたものがあるが、12のKPIのうち、6つのKPIは前年から実績値が前進している。引き続き、達成に向けた取組を進めていく。
- 【「新・群馬県総合計画に係る懇談会」**有識者意見**】
 - 計画を策定してからの**取組は非常に良い**。
 - ビジョンを実現することでどのように県民の暮らしが変わるのか、見える化するとよい。
 - 群馬県の自然の豊かさを生かしながら、最先端の技術を実践できるとよい。
 - サービスの種類や対象者によって、どのようにデジタルを使い分けていくかが重要である。

■ 進捗状況

- 【達成A】 実績値が目標値を上回り、達成した状態
- 【前進B】 実績値が目標に向かい、基準値（策定時）から前進している状態
- 【横ばいC】 実績値が基準値（策定時）から変動が見られない状態
- 【後退D】 実績値が基準値（策定時）の数値より後退している状態

※割合（%）は未確定を除く【達成A】～【後退D】の小計を分母にしている